

レビュー項目 (事業名)	ひょうごSDGs ワークーション・スタート推進事業				部(局)	企画部			
					所管課	計画課			
					担当班	交流推進班			
					連絡先	078-362-4263			
開始年度	令和6年度	終了年度	令和6年度	関連計画等					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県			
事業目的	「兵庫型ワークーション」を推進することにより、若い世代に訴求する多様な働き方の実現や、SDGsに資する取組のPRによる企業価値の向上等を通じ、継続的な交流人口の増加等を図る。								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市町や民間企業・団体等と連携し、SDGs 推進による企業価値の向上や、地域課題解決を通じた人材育成等に繋がる「ひょうごSDGsワークーション・プログラム(※)」を造成 ※各地域の生業や地域資源等の、SDGsの取組を体感できるワークーションを内容とした2泊3日程度のプログラムを想定 プログラム造成後の利活用促進に向け、企業等に対するセミナーの実施 任意事業者を対象としたプログラムの試行実施(テストマーケティング) 								
令和6年度 当初予算	3,000 千円	(国庫)	千円	(特定)	千円	(起債)	千円	(一般)	3,000 千円
評価 指標	指標名	5年度 見込	6年度 目標	7年度 目標	最終目標 【年度】	設定の考え方			
	成果指標(アウトカム指標①)					【設定の考え方】 継続的な交流人口増のため、SDGsに関心の高い企業を中心に活用企業数を増加 【目標数値の考え方】 ①ワークーション導入率 5.3%(R4)※観光庁調査 ②ひょうごSDGs Hub 登録団体 256団体 ⇒256×5.3%≒15 (R6は造成年のためR7からの目標)			
	ひょうごSDGs ワークーション・プログラムの活用企業数	-	-	15 (単年度)	15 【7年度】 (単年度)				
	成果指標(アウトカム指標②)		3 (単年度)	R6にモデル事業としてプログラムを造成し、R7に企業の活用を目指す		【設定の考え方】 プログラムごとに参加事業者を確保 【目標数値の考え方】 プログラムごとに1事業者			
	テストマーケティング参加事業者数					【設定の考え方】 実施可能なプログラムの造成 【目標数値の考え方】 類似事業実施県の実績並(三重県)			
	活動指標(アウトプット指標①)		3 (単年度)						
	ひょうごSDGs ワークーション・プログラムの造成数	-							
活動指標(アウトプット指標②)									
活動指標(アウトプット指標③)									
終期設定	(有) (令和6年度)					無			
改善基準	令和7年度の実績を踏まえ、活用企業数拡大に向けたPR手法等の見直しを検討								
外部委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ひょうごSDGsワークーション・プログラムの活用企業数であるが、可能であれば人数も目標とできれば良いのではないかと。 若い世代に訴求ができていないのか、指標の設定は難しいが、若者・Z世代の参加割合等の測定は必要ではないかと。 企業のトップの方が、自らSDGsへの取組について周知することも重要である。 成功事例を作り、横展開を図ることが必要である。 								
見直し結果									